現場からのメッセージ 講演

平成27年度 新人研修医歓迎の集い

Message from a medical site

鬼頭 秀樹

那賀町立上那賀病院 院長

僻地診療の醍醐味

那賀町は過疎化が進み、徳島県内でも医師不足の深刻なへき地であります。上那賀病院は、広大な那賀町の唯一の入院施設であり、救急患者は 24 時間年中無休で受け入れています。ベッド数 40 床、常勤医師 3 名の最小規模の病院ですが、その役割は、通常の日常診療以外に、日曜日の午前中には通常通りの外来を開いて日常診療を行っており、また、近隣の診療所への支援や救急患者への対応、訪問診療・訪問看護・施設往診、地域住民の健康増進のための試み・・・多岐にわたっております。地域の患者を診ているうちに、本当は誰もができれば地元の病院で治療を受けたいと考えているという当たり前のことに気づきました。地域医療を担う病院として患者に寄り添った医療を行うため、家庭医のハートを持つ専門医を目指して、みなさん、理想の地域医療を一緒に展開していきましょう。

三島千明

日本医師会 JDN 副代表
医療法人北海道家庭医療学センター 後期研修医

日本医師会ジュニアドクターズネットワークの活動について

私は島根県出身で学生時代は山間部、離島、海外での実習を通して、地域医療や、健康な街づくりに関わる医師になりたいと思いました。現在は北海道に渡り、家庭医療の後期研修を行っています。これまで様々な地域での勤務経験を通して、地域の健康を考えるためには、臨床能力を磨くと同時に、その地域の文化や経済、政策など多様な背景の理解も重要であることを痛感しました。日々の臨床研修に取り組みながら、幅広い視野をもって、国際的な目線から日本と世界の医療を学びたいと考え、ジュニアドクターズネットワーク (JDN) の活動に参画しました。JDN は 2011 年にカナダの若手医師を中心に世界医師会 (WMA) で承認され、日本では 2014 年に全国各地の様々な専門科の若手が集まり活動が始まりました。JDN は国際的な繋がりの中で若手医師によるプラットフォームを形成し、公衆衛生や保健医療政策分野の幅広い活動を行うことを目指しています。現在は国際会議への参加、セミナー形式の勉強会、若手医師の現状の調査、国際交流 / 留学プロジェクト（韓国若手医師との交流）といったプロジェクトを進めています。これまで日本国内外の若手と関わる中で、臨床・研究、留学、キャリア、ライフプラン、さまざまな若手の直面するチャレンジは皆共通していてお互いから学び合うことが多くありました。初期臨床研修は様々な診療科の先輩に出会い、自分の医師としての姿勢の基本を身につける大切な２年間です。なるべくネットワークを広げて、様々な人に出会い、周囲から刺激を受けて学ぶことを通して、後期研修以降の進路を考える上で沢山のヒントを見つけることが出来ると思います。JDN もその 1 つのツールとして利用して頂き、若手同士がつながりあって、学び合い、徳島から日本と世界の医療のあり方を一緒に考えていければ幸いです。

JDN の活動に興味ある方は、Facebook ページ (Japan Medical Association Junior Doctors Network) または JDN のメーリングリスト (https://groups.google.com/d/forum/jma-jdn) への御登録をお願いいたします。

徳島県での研修を 徳島県医師会は全力で応援します！

徳島県医師会 会長

川島 周

みなさん、国家試験合格おめでとうございます。
初期研修医として最も大切な２年間を徳島で研鑽される先生方を大いに歓迎し、全力で応援致します。この研修会は、徳島で医療人として新しくスタートを切った研修医の先生方を歓迎するため、平成 20 年度から始めた事業であり、今回の開催で８回目となります。県内全ての臨床研修病院から研修医、指導医を含む研修病院関係者のかた方に多数ご参加頂き心より感謝しています。徳島県医師会は、医師への情報発信・災害時の拠点となるべく新会館の建築もスタートしました。「地域医療を担っていく」という高い志を持って、医師としての第一歩を踏み出されたみなさんとともに素晴らしい将来に向かって、我々と一緒に目標とする医療人を目指して頑張りましょう。きっと徳島での研修は、日々の感動を通じて知人・友人の新たな出会いによる人生の輪を大きく広げ、充実したものとなることでしょう。

勤務医・研修医委員会委員長を担当しております。
今年も多数の研修医の先生・指導医の先生方にご参加頂きまして、【新人研修医歓迎の集い】を盛大に開催することができました。
ご参集下さいました皆様方に心より感謝申し上げます。徳島には研修を受けられるみなさんの期待と不安に応えてくれる先輩や仲間たちがたくさんいます。
仕事はもちろんプライベートの話も含めて相談に乗ってくれるはずです。この２年間、多くの経験を積まれることと思いますが、この研鑽の日々がみなさんの将来に向かって無限に広がっていくことを信じて、徳島県医師会は応援しております !!

勤務医・研修医委員会委員長

郷 律子

“ 新人研修医歓迎の集い ” における恒例プログラム「先輩から伝えたい研修１年目のコツ」の進行をさせていただきました。
今年も各研修病院の２年目研修医による新作応援メッセージの堂々たる発表と指導医からの愛情溢れるコメントに徳島県での温かい絆を実感致しました。また年々趣向がこらされた懇親会からも徳島県医師会の若手医師育成に対する熱意が伝わり、研修医ともども明日への活力をいただき感謝しております。

徳島大学病院 卒後臨床研修センター

西 京子

先輩から伝えたい研修１年目のコツ

～各研修病院２年目研修医からのメッセージ～

麻植協同病院（吉野川医療センター）

水谷 育宏

午前は外来や病棟を中心に研修し、午後は手術・検査など、そして1日を通じて救急患者のファーストタッチをするというのが、僕の1日のスケジュールで、週に1回は当直も行っています。医療スタッフの皆さんとチームでの医療を心がけ一生懸命頑張っています。さて、当院は、平成27年5月4日に移転、5月11日より吉野川医療センターとして診療を開始します。新病院は自然一杯の、とても景観が素晴らしい所にあります。みなさん、是非いらして下さい。

徳島県鳴門病院

松葉 尚隆

研修を始めたばかりの皆さんにアドバイスをするとすれば、まずは、挨拶・先生方やスタッフのみなさんの顔と名前を覚える事です。電話で済む要件であっても、足を運んで直接顔を見ながら会話をすることはとても大切です。また、多職種の方々とのコミュニケーションをとることも、仕事を円滑に運ぶことにつながります。チーム医療は普段の何気ない会話の中から生まれてくるものです。健全なる精神は健全なる身体に宿ると言いますが、睡眠・食事・運動にも心がけなければいけません。

徳島県鳴門病院
徳島大学病院基幹型プログラム研修医

稲垣 太造

【The best teacher is the patient】
本だけの知識は忘れやすく、実践にも弱い、最良の学びは患者を診ることにあるということです。
そして【See one.Do one.Teach one】知識は「見て覚え」「やって覚え」最後は「教えること」で修得されます。良き習慣は、諸先輩から受け継ぐことで定着し、その努力を怠れば退化の道をたどることになることを肝に銘じておかなければなりません。みなさんの理想の医師像に近づくためにも一緒にがんばりましょう。

徳島市民病院

丸山 悟史

徳島市民病院には2年目研修医が5人おりますので、それぞれの経験を踏まえてアドバイスをさせて頂きます。体をしっかり動かすこと、本をたくさん読んで知識をつけること、患者さんとの関係を良好にし、スタッフとの連携をとるため、きちんと挨拶すること等が大切です。わからないことはすぐに調べ、それでもわからない時は指導医の先生に聞くようにしましょう。研修医もこの病院を動かしていくんだという気持ちで前向きに取り組んでいきましょう。

徳島赤十字病院

鵜飼 俊輔

研修では戸惑うことも多いですが積極的に行動することが重要です。皆さんが将来の進路をどの程度決めているのか個人差はあると思いますが、どのような進路を選ぶにしても他科の考え方を知っておくことは大切です。また、研修当初は日々の疑問を解決する事で精一杯ですが、まずはそこから着実に取り組んでいきましょう。そのためには上級医へコンサルすることが重要になってきますので、状況を説明できるよう常に頭の中を整理しておくことがポイントです。皆さん一緒に頑張っていきましょう。

徳島県立中央病院

住谷 龍平

当院は徳島県の医療の砦たる救急病院であり、軽症から最重症、あらゆる科に渡り患者さんが来院されます。初期研修医であっても、責任をもって対応が求められる場面も多々あります。この1年は医師として非常に充実し、力を伸ばせた研修でありました。1年目の先生方には、技術面でも知識でもあらゆることを吸収し、臨床力を身につけていただきたいと思います。一緒に頑張りましょう！

徳島県立中央病院

近藤 健介

研修医1年目の先生方、国家試験合格おめでとうございます。正直な話、研修生活はわからないこと・できないことだらけです。しかしいきなり全てを完璧に行うのも難しいです。焦らず少しずつ確実に、できることの幅を増やしていきましょう。
また、自分が元気でなければ患者さんに元気は与えられない、と思います。息抜きもして、自分の心身をしっかりケアしてくださいね。これからも共に研修生活を頑張っていきましょう。

徳島大学病院

富永 真由

徳島大学では様々なセミナーがあります。当直スキルアップセミナーでは当直で必要な知識を習得し、研修医セミナーでは様々な手技を勉強します。英会話の授業もあります。セミナーは効率よく学べる場なのでぜひ参加して下さい。また大学病院以外に全国の特色ある関連病院で研修し、幅広い医療を経験して頂きたいです。研修中、つまずき悩んだ時はセンターの先生、同期、先輩を頼りつつ、楽しく充実した研修医生活を送ってください。

DOCTOR SUPPORT PARTY

アン・ドゥ・トロワ通信 徳島県医師会

udt Letter

2015 春号 vol 2

徳島県女性医師等再就業促進運動事業

特集
新人研修医歓迎の集い

講演／先輩から伝えたい研修１年目のコツ／懇親会

新人研修医歓迎の集い 懇親会

講演会終了後、出席者全員で記念撮影を行い懇親会が開催されました。懇親会には毎年ご多忙の中徳島県知事が、新人研修医にエールを送るためご臨席頂いています。

乾杯のあと、知事や会長と一緒に臨床研修病院ごとに集合写真を撮り、各病院から研修医代表にマイクを持って頂き、研修への意気込みを熱く語って頂きました。

また、懇親会の中盤より病院対抗ゲームを行いフラフープの回数で体力を競い合ったり、ご当地クイズで頭をひねったりした後、指導医から研修医への初の指導・連携となる『歓迎の集い』恒例の二人羽織で、チームワークを披露して頂きました。

ケーキを研修医の先生が指導医の先生にうどんは、指導医が研修医に目隠しで食べさせます。指導医の先生のお顔にケーキをつけてしまったり、うまくうどんが食べられなかったりと悪戦苦闘の様子に自然とフロアからの応援の声も大きくなり、弾けた笑い声が響きました。

シャッターチャンスを逃すまいとカメラを向ける人、夢中で声援を送る人、知事も飛び入りしてゲームを盛り上げてくださいました。

最後は、何が誰にあたるかドキドキのラッキーカードの抽選に150名の参加者の熱気で最高潮になりました。

徳島で研修を受けることでつながることができた【輪】。これから始まる研修の中で、一緒に悩んだり、苦しんだり、医師としての経験を積んでいくことと思いますが、自分から学び工夫する努力を忘れないよう、研修はもちろんのこと、振り返った時、人生の中で有意義だったと思える2年間になって欲しいという願いと、将来、徳島の医療を守る担い手となる若い力に期待をよせる楽しいひとときでした。

News

徳島県は平成27年度開催県です！

平成27年7月25日「第11回男女参画フォーラム」

《開催日時》平成27年7月25日（土） 12：30〜
《場　　所》ホテルクレメント徳島　3階金扇
《お問い合せ》一般社団法人徳島県医師会
TEL 088-622-0264　FAX 088-623-5679

※マミールームも設置しております。詳しくは徳島県医師会までお問い合せください。

ワークとライフは相乗効果を生み出す関係。
ライフでインプットするからこそ発想力・人脈を広げられ健康的でいられる。
ライフが充実するから仕事でアウトプットの質が上がる。
スタートは必ずライフの充実から。

小室さんの実践するワクワク WORK とキラキラ LIFE の
バランスについてぜひご一緒にきいてみませんか？

基調講演 講師
株式会社ワーク・ライフバランス
代表取締役社長　小室 淑恵

2年間の日本・アメリカ間での遠距離恋愛生活を経て 2003 年に結婚。2006 年には第一子を、2012 年には第二子を出産し、子育てと仕事を両立し充実したワーク＆ライフを過ごす活動的な女性として多くの人から支持を得ている。

アン・ドゥ・トロワWEBサイト
http://udt.jp
いますぐ Check！

徳島県医師会に イメージキャラクター誕生!!

キャラクターの名前大募集

救助や介護の場で活躍しているゴールデンレトリバーをイメージキャラクターに採用し、現場で働く医療関係の方々が癒されるような「かわいく、ほっこり」したイメージで愛嬌の中にも暖かみを感じるキャラクターにしました。

■募集内容
親しみやすく、呼びやすい愛称を皆様から広く募集いたします。
※日本語、アルファベット可。
※採用された愛称に関しての商標権、その他一切の知的財産権は徳島県医師会に帰属します。

■応募期間
2015年7月1日（水）〜2015年7月21日（火）まで

■応募方法
udtWEB サイトにアクセス頂き応募フォームよりご応募ください。
ご応募はこちら → http://udt.jp

■賞品
グランプリ（1名）　半田素麺 8キロ
審査委員賞（5名）　吉野川ブレンドコーヒー 1 キロ
※同じ愛称の応募者が複数の場合は、抽選とさせていただきます。予めご了承ください。

■選考
徳島県医師会事務局にて選考いたします。

■結果発表
2015年7月25日（土）、フォーラム会場に掲示いたします。
※udtWEB サイトも同時発表
※受賞者へは、徳島県医師会事務局から直接ご連絡いたします。

■お問い合わせ先
徳島県医師会医師会事務局　088-622-0264

夏号は第 11 回男女共同参画フォーラム in とくしまの様子をお伝え致します。